

履修（保育学科 2019～2020年度入学生）

● 履修基準（2019～2020年度入学生）

- 卒業要件として、「必修科目」を含めて62単位以上を修得しなければなりません。この62単位には、表1に示す「全学共通科目」から10単位以上、表2に示す「専門科目」から52単位以上を含むものとします。なお、1年間の履修単位数の合計は45単位（ただし、「保育実習 教育実習 野外活動実習」を除く）を上限とします。
- 幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、表1の「幼二免」欄に示す全学共通科目9単位と表2の「幼二免必修」欄に示す科目39単位を修得しなければなりません。なお、詳細は3ページの「●幼稚園教諭二種免許状取得のための本学開設専門科目一覧（2019～2020年度入学生）」にて確認してください。
- 保育士資格を取得するためには、表1「保育士資格／必修」欄に示す全学共通科目3単位と、表2の「保育士資格」欄に示す「必修」科目51単位すべてに加えて、同欄に示す「選択」科目の中から、「保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲ」のどちらか3単位を含めて9単位以上修得しなければなりません。なお、詳細は4・5ページの「●保育士資格取得のための本学開設専門科目一覧（2019～2020年度入学生）」にて確認してください。
- 各授業科目の第一回目では、「授業上のねらい」や「成績評価」等に関して詳細かつ重要な説明を行い、教員と受講生との相互理解を図るオリエンテーションが含まれています。そのため、第一回目の授業開始時に着席あるいは集合し、適切に受講しなかった場合、原則、履修は認められません。不測の事態が生じた場合であっても、大学教務課への連絡がない場合には同様です。

表1 全学共通科目

区 分	番 号	授 業 科 目	単 位 形 式	幼 二 免		保育士資格	
				必 修	選 択	必 修	
教養科目	CGH001	哲学	2L	○			全学共通科目ナンバリングの考え方 例：U G S O 02 ① ② ③ ④ ⑤ ①1 桁目は本学の全学共通科目を示す。 ②アルファベットの2桁目は、本学の科目区分を示す。 教養科目：G (general) 基礎科目：B (Basic) コミュニケーション科目：C (Communication) 健康とスポーツ：H (Health) 本学独自の科目：O (Original) ③アルファベットの3桁目は、科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」に従って、学問の「分野」を示す。上のルールに取まらない場合には、「分科」を用いる。 ④数字の1 桁目は、学年を表す。0 の場合は履修の学年を問わない。 ⑤数字の2 桁目、3 桁目は、通し番号
	CGS001	心理学	2L				
	CGS002	日本国憲法	2L				
	CGI001	人権教育	2L				
	CGH002	地域と社会	2L				
	CGH003	芸術文化	2L				
	CGH004	歴史	2L				
	CGO001	香川学	2L				
	CGI002	人間と環境	2L				
	CGS003	ボランティア	2E				
基礎科目	CBL001	日本語表現基礎Ⅰ	1E				
	CBL002	日本語表現基礎Ⅱ	1E				
	CBM001	数学基礎	2L				
コミュニケーション科目	CCI101	情報機器演習Ⅰ	1E	○	○ ○ ○ ○ ○		
	CCI102	情報機器演習Ⅱ	1E	○			
	CCE101	英語Ⅰ	1E				
	CCE102	英語Ⅱ	1E				
	CCE201	英語Ⅲ	1E				
	CCE202	英語Ⅳ	1E				
	CCG101	ドイツ語Ⅰ	1E				
	CCG102	ドイツ語Ⅱ	1E				
	健康とスポーツ科目	CHH001	健康スポーツ論	2L			
CHH002		スポーツ実習	1P	○			
必 修 単 位 数			10	7	2	3	

注1. 全学共通科目の履修については、学則第14条第一号によるものとする。

注2. 幼稚園教諭二種免許状・保育士資格を取得する場合には、次の条件を満たすこと。

(1) 幼稚園教諭二種免許状を取得する場合は、日本国憲法、健康スポーツ論、スポーツ実習、情報機器演習Ⅰ、情報機器演習Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅳから2単位の合計9単位を必修とする。

(2) 保育士資格を取得する場合は、健康スポーツ論及びスポーツ実習の合計3単位を必修とする。

注3. 表中の2L、2E、1Pなどの数字は単位数、Lは講義、Eは演習、Pは実技・実習を表している。

表2 専門科目

系列	授 業 科 目	単位 形式	1 年		2 年		卒業 必修	幼二免 必修	保育士資格	
			前期	後期	前期	後期			必修	選択
保育学と教育学	教育学原論	2L	○				○	○	○	
	教師論	2L	○					○	○	
	教育制度論	2L			○			○		
	保育原理Ⅰ	2L		○			○		○	
	保育原理Ⅱ	2L				○				○
	保育環境論	2L				○				○
	乳児保育Ⅰ	2L	○						○	
	乳児保育Ⅱ	1E				○			○	
	特別支援教育・保育Ⅰ	1E			○			○	○	
	特別支援教育・保育Ⅱ	1E				○		○	○	
	幼保専門教養発展講義	2L			○					
心理学と社会福祉	幼保専門教養発展演習	1E			○					
	子ども家庭支援の心理学	2L	○						○	
	子どもの発達と教育の心理学	2L		○			○	○	○	
	発達心理学	2L			○					○
	子どもの理解と援助	1E		○			○	○	○	
	子ども家庭福祉	2L			○				○	
	社会福祉	2L				○			○	
	社会的養護Ⅰ	2L		○					○	
	社会的養護Ⅱ	1E			○				○	
	子育て支援	1E				○			○	
	子ども家庭支援論	2L				○			○	
保健学と栄養学	教育相談	2L				○		○		
	子どもの保健	2L	○						○	
	子どもの健康と安全	1E			○				○	
	子どもの食と栄養Ⅰ	1E			○				○	
保育・教育の内容と方法	子どもの食と栄養Ⅱ	1E				○			○	
	保育と教育のカリキュラム論	2L			○			○	○	
	保育・教育の方法及び技術A	2L	○				○	○		○
	保育・教育の方法及び技術B	1E			○			○		○
	子どもと健康（運動遊び）	1E	○				○	○	○	
	子どもと環境	1E			○			○		○
	子どもと言葉	1E		○				○		○
	子どもと造形表現Ⅰ	1E	○				○	○	○	
	子どもと造形表現Ⅱ	1E		○				○		○
	子どもと音楽表現Ⅰ	1E	○				○	○	○	
	子どもと音楽表現Ⅱ	1E		○				○		○
	子ども文化	1E	○				○		○	
	保育内容総論	1E	○						○	
	保育内容－健康	1E			○			○	○	
	保育内容－人間関係	1E				○		○	○	
	保育内容－環境	1E				○		○	○	
	保育内容－言葉	1E			○			○	○	
	保育内容－造形表現	1E	○					○	○	
	保育内容－音楽表現	1E		○				○		○
	保育の表現技術発展演習	1E				○				○
	ピアノ特別演習	1E			○					○
実習	保育実習指導Ⅰ－Ⅰ	1E	○						○	
	保育実習指導Ⅰ－Ⅱ	1E		○					○	
	保育実習Ⅰ	4P		○					○	
	保育実習指導Ⅱ	1E			○					○※
	保育実習Ⅱ	2P			○					○※
	保育実習指導Ⅲ	1E			○					○※
	保育実習Ⅲ	2P			○					○※
	観察参加	1E		○				○		
	教育実習事前事後指導	1E			○			○		
総合的演習	教育実習	4P			○			○		
	保育職基礎演習Ⅰ	1E	○				○			
	保育職基礎演習Ⅱ	1E		○			○			
	保育・教職実践演習（保・幼）	2E				○		○	○	
	野外活動実習	1P	○							○
	保育学研究法	1E		○			○			
	卒業研究	2E			○	○	○			
	保育学特別研究	1E				○				
必 要 単 位 数							18	39	51	9

注1. 表中の2L、2E、1Pなどの数字は単位数、Lは講義、Eは演習、Pは実技・実習を表している。

注2. 子どもと造形表現、子どもと音楽表現は、それぞれⅠの単位を修得した者でなければⅡを履修できない。

保育実習指導についてはⅠ－Ⅰを履修して最終試験を受けた者がⅠ－Ⅱを履修できる。

注3. 系列にある保育実習、教育実習の履修については68ページを参照すること。

※ 保育士資格を取得するためには、「保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲ」のどちらか3単位を修得しなければならない。